

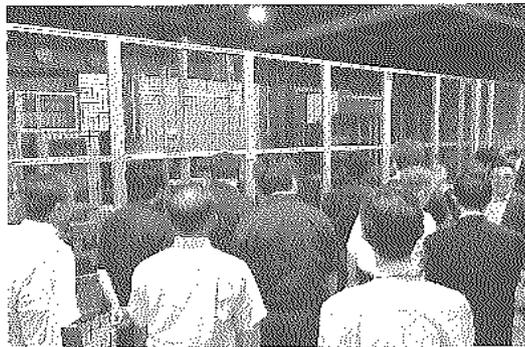
当会の交流推進委員会の視察会が平成30年8月3日(金)付の、
日刊工業新聞に紹介されました。

中山機械など2社を視察

北海道機械工業会と北海道バイオ工業会は、モノづくり企業2社の視察会を実施した(写真)。両工業会の会員企業など80人が参加。工場見学で知見を広げるとともに、会員企業同士の交流を深め、モノづくりの活性化を目指す。

視察した2社のうち、中山機械(北海道北広島市)は1912年(明45)創業。天井クレーンやプレス機など産業機械装置を製造する。西村隆朗社長は「昔ながらの技術を磨き上げ、重厚長大なモノづくりで生き残っていききたい」と抱負を語った。

北海道機械工業会とバイオ工業会が交流



もう1社のワールド山内(同北広島市)は機械加工などから溶接、組み立てまで一貫して実施。IoT(モノのインターネット)を活用した独自の生産管理システムを構築している。山内雄矢社長は「工場の見える化で機械の状況がすぐわかる。すべての機械がネットワークでつながっている」と同社のモノづくりの特徴を説明した。(札幌)

工などから溶接、組み立てまで一貫して実施。IoT(モノのインターネット)を活用した独自の生産管理システムを構築している。山内雄矢社長は「工場の見える化で機械の状況がすぐわかる。すべての機械がネットワークでつながっている」と同社のモノづくりの特徴を説明した。(札幌)